

令和 5 年度 事前評価書要旨

対 象 事 業 名	鹿島第 1 ・ 2 期工業用水道強靱化事業
1 . 事 業 の 目 的	
鹿島第 1 ・ 2 期工業用水道は、茨城県の南東部に位置し、鹿島臨海工業地帯を中心とした進出企業の工場建設計画及び工業用水の需要に応じて 2 期に分けて建設を行っており、1 期 210,000 m ³ /日は、昭和 4 1 年度から建設を始め、昭和 4 6 年度に施設が完成し、2 期 600,000 m ³ /日は、昭和 4 4 年度から建設を始め昭和 5 2 年度に建設が完成している。平成 2 3 年の東日本大震災による工業用水配水管の被災状況を踏まえ、災害や漏水事故等の危機管理体制を強化するとともに、安定した工水の供給を図ることを目的として工水管の耐震化を推進する。	
2 . 事 業 の 必 要 性	
鹿島第 1 ・ 2 期工業用水道事業は、昭和 4 4 年度に給水を開始し、長年の使用による施設、設備の劣化及び老朽化に伴い、管路の漏水や設備の故障等が多発し管理に支障をきたすようになったため、また、平成 2 3 年の東日本大震災により配水管が被災した状況を踏まえ、施設の耐震化等の事による強靱化を図り、工業用水の安定供給を図る必要がある。	
3 . 効 果 と コ ス ト と の 関 係 に 関 す る 分 析	
A . 総 便 益 ; 30.89 億 円 B . 総 費 用 ; 21.34 億 円 費用便益比 ; 1.45 (A ／ B)	
4 . 評 価 結 果	
工業用水道事業に係る政策評価実施要領に照らし合わせた結果、前提指標である費用便益比 1 . 0 以上等を満たしており、事業着手の緊急性を要していることから、本事業は補助対象として妥当であるため交付決定を行うこととする。	